

自治体名	豊島区					
地域未来塾名称	としま未来塾					
実施場所(個所数)	■学校外施設 「教育センター」 1 個所					
対象学年	■中学生 (1 年～3 年)					
学習支援員数	3 人	■大学生、■民間教育事業者				
対象教科	国語	○	数学	○	英語	○
	その他	理科・社会科				
ICT活用有無	有		東京ベーシックドリル活用		有	
【実施規模】						
■実施回数：年 33 回      ■実施曜日 原則として土曜日      ■時間帯 13～15 時						
【運営体制・方法】						
○学習に関するカウンセリングや個別の具体的な支援を行い、児童・生徒の持つ資質・能力を最大限に引き出し、学力の定着・向上を図る。						
○ICT機器(タブレットPC等)を有効活用し、学び方の習得や苦手意識の克服をねらいとし、学習の支援を図る。						
【成果・課題等】						
○「学習意欲はあるが、どのように学ぶかが分からず困っている」「学習のコツがつかめず、時間をかけても、なかなか成果が上がらない」といった困り感を持つ生徒に、その生徒の状況に応じて個別に対応することができた。						
○想定していたよりも生徒を集めることができず、対象生徒への働き掛け等の募集方法に課題を残した。						
○ICT機器を活用して実施しているが、実施施設の電波状況の関係で場所(部屋)が限られてしまい、受講生徒数が多い時期に対応しきれない場合がある。						
○講師を確保するため、区内にキャンパスがある大学等を通して学生に呼び掛けを行っているが、安定的に確保できていない状況がある。						

自治体名	北区					
地域未来塾名称	学力フォローアップ教室					
実施場所(個所数)	■学校：35校(小学校35校)					
対象学年	■小学生(3年～4年)					
学習支援員数	1人/1学級	■大学生、■教員OB				
対象教科	国語	○	算数	○	英語	
	その他					
ICT活用有無	無		東京ベーシックドリル活用		有	
【実施規模】						
■実施回数：年32回      ■実施曜日 学校により異なる      ■時間帯 放課後						
【運営体制・方法】						
5月から翌年3月までの間で実施。各回1時間程度とし、外部指導者1名に対して原則5～10名程度の児童とする。予算は学級数に準じる。						
講師の人材確保は学校で行う(区T2非常勤や実習生など)。指導は北区基礎・基本定着度調査のフォローアップ教材や東京ベーシック・ドリル等を活用する。						
【成果・課題等】						
・年2回効果検証として、北区基礎・基本定着度調査を利用した報告を行っている。						
・講師の確保、及び担当講師との打合せ時間の確保が難しい。						